

2020年度 第1回長崎県がん診療連携拠点病院研修会

アンケート調査結果

開催日 2020年9月1日（火） 時間 18:30～19:30
 場所 第4講義室
 出席者 84名 アンケート回答数 63名

【出席者の内訳】

職名 \ 施設名	長崎大学	諫早総合	佐世保中央	佐世保総合	島原	原爆	みなと	長崎医療	他施設	合計
医師	5	0	0	0	0	0	0	0	0	5
歯科医師	13	0	0	0	0	0	0	0	0	13
薬剤師	9	0	0	0	0	0	0	0	6	15
看護師	36	0	0	0	0	0	0	0	5	41
放射線技師	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
MSW	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
事務職員	6	0	0	0	0	0	0	0	0	6
その他	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	73	0	0	0	0	0	0	0	11	84

【今回の講演について】

①よかったところ

- ・看護師による抗がん剤ルート確保が開始され、患者さんの満足度が高くなっていること（看護師）
- ・医師の負担軽減、待ち時間対策などの取り組みで、医療者側への負担軽減についても対策されるのかと知ることができて参考になった（看護師）
- ・がん治療の基本的なところから、他部署での取り組みを知る機会が得られたところ（薬剤師）
- ・基本的な内容となっており、わかりやすかった（医師）
- ・抗がん剤などについて基礎的な知識の復習、知識の整理にととても役立った（医師）
- ・がん薬物療法の基礎を確認できた（医師）
- ・基本的な内容の説明もあり、わかりやすかった（看護師）
- ・実際に則した内容でわかりやすかった（看護師）
- ・抗がん剤の作用など学べてよかった（看護師）
- ・今までまったく知らなかった病院内での進化がわかった（薬剤師）
- ・資料もわかりやすかった。ソーシャルディスタンスをしっかりと取られていたのでよかった。Ns.による抗がん剤ルート確保WG目標や検討をあげられ、改善・育成されてすごく勉強になった（看護師）
- ・基本的な知識が整理できた（看護師）
- ・専門の医師、薬剤師、看護師の多職種の講演が聴けたこと（薬剤師）

- 以前からわかっているところを再確認できた。レジメがすごく見やすい、あとから振り返るときに助かる（薬剤師）
- がん薬物療法の総論から各薬剤について、臨床の実態まで話を聞くことができた点（薬剤師）
- 化学療法室の継続的な取り組みがよくわかった（看護師）
- 各職務の話が聞けた。特に抗がん剤の薬物治療メインで話を聞いてよかった（薬剤師）
- 「がん」の基本的な部分から学べ、普段機会の少ない看護師さんの話が聞いてよかった（薬剤師）
- 専門用語ばかりでなく、聞きやすい。基礎的なことを解説していただいた（歯科医師）
- 薬物療法について理解を深めることができた（看護師）
- 抗がん剤治療、がん治療の概論がわかりやすかった。外来化学療法室でのルート確保や患者さんの待ち時間、看護師の取り組みについてはこれまで把握していなかったので勉強になった（薬剤師）
- がん化学療法の基本的なことを改めて学ぶことができた（看護師）
- 基本を改めて学べた（薬剤師）
- 抗がん剤の種類について理解できた（看護師）
- 化学療法の基本的なところから最新のトピックまで話が聞いて勉強になった（歯科医師）
- 専門的な内容が簡潔でとてもわかりやすかった（看護師）
- 基礎的事項をわかりやすくご説明いただいたので頭の整理ができた（薬剤師）
- 大変わかりやすかった（看護師）
- 今日は基礎的な研修会で事務職員としても大変役に立った。3名の講師の先生、ありがとうございました（事務職員）
- 基本的な内容を学べたのでよかった（薬剤師）
- Ns.によるルート確保が化学療法室以外でもできるような体制が院内の組織的な取り組みで整備されていることを知ることができた（看護師）
- 基礎の話や概念についての話が聞いて勉強になった（看護師）
- 抗がん剤治療の基本的なことがわかった（看護師）
- 基本事項を改めて周知できる機会となってよかった（薬剤師）
- 薬物療法の基本を知ることができた。抗がん剤の種類は多く、まだまだわからない点も多いが、注射薬の内容を知ることができてよかった（看護師）
- 薬剤についての講演が参考になった。化学療法室の状況がよくわかった（看護師）
- わかりやすかった。特に抗がん薬の種類がよくわかった（医師）
- がん薬物療法概論、苦痛に配慮した治療が大切であること（看護師）
- がんの鯨飲になる遺伝子の異常や治療の際に患者が根治目的で行っているのか、緩和目的で行うのかで効率と副作用のバランスを適切に考え、患者のニーズに合った治療を行うことの大切さを学ぶことができた（不明）
- わかりやすかった（看護師）
- 基本的なところが確認できた（薬剤師）

②気になったところ

- 3CiVナースについて（看護師）
- 手技テストの内容が知りたい（看護師）
- 抗がん剤ルート確保を看護師が行うにあたって、それにあたって専門の教育を受けているというところを知らなかったのが気になった（薬剤師）
- レジメンの確定後廃棄による損失のデータはどここのデータ？（看護師）
- 各分野15分だと少し短く感じた（薬剤師）
- タスクシェア、Ns.の負担、Dr.のサポート（看護師）

③講演に対する要望

- 点滴ルート確保の実技の実際も知りたい（化学療法中の看護なども）。自分たちがしていることが正しいのか、と思うことがある（看護師）
- 抗がん剤の組み合わせ（適応）について（医師）

- もう少し実臨床に即した内容の講義があると嬉しい（医師）
- 今回のように院内だけではなく、院外にも声をかけていただきたい（薬剤師）
- 院内でがん患者に対して注意している点などがあれば教えてほしい（薬剤師）
- わかりやすく、興味深かった（薬剤師）
- 治療に関しては今のがん種ごとのトレンド（1st→2nd→…）の流れについて、ガイドラインも含めての講演が聴きたい（薬剤師）
- 薬剤に関しては作用→副作用の関連、相互的作用等、各薬剤の注意点をご教授いただきたい（薬剤師）
- 消化器がんの治療について知りたい（薬剤師）
- がん患者の地域連携の具体的な取り組み（看護師）
- 時間が短く感じた（薬剤師）
- 今後も基本的な知識を取り上げて研修してもらいたい（薬剤師）
- 具体的レジメン等、レジメンと要注意副作用の関連（歯科医師）
- 疾患別のがん治療をお聞きしたい（薬剤師）

【次回の講演で希望すること】

- 緩和ケア、オピオイド（薬剤師）
- 麻薬、緩和ケア等の薬剤の使用の仕方、がん化学療法中の患者さんの周術期の留意点など（薬剤師）
- 講義室の場所がわかりにくかった（看護師）
- この状況の中、開催が難しいところはあると思うが、今までのように行ってほしい（薬剤師）
- 診療科ごとに話を聞いてみたい（治療方針、考え方等）（薬剤師）
- コメディカル（MSW）の“がん患者への支援について”講演を聞いてみたい（看護師）
- 開始時刻がもう少し早いと参加しやすい（看護師）
- 免疫check pointに関する各cancer レジメン、治療効果（os・PFS）など（薬剤師）
- 外来治療が発展していく中、保険薬局に求めることなど…（薬剤師）
- 今後も定期的を開催していただきたい（薬剤師）
- がん遺伝子について（診断、治療の流れ、現状等）（薬剤師）
- 18:00くらいから開始していただくと参加しやすい（院外からも来られると難しいのか…）（看護師）
- 副作用への対応やペインコントロールについて知りたい（歯科医師）
- 時間がよかった（看護師）
- ほかの研修会と重ならないように計画してもらえると助かる（看護師）
- 免疫療法の最新の知見について聞きたい（医師）

【がん診療センターに対するご要望】

- 今回、偶然研修会が開催されることを知り、院外より参加した。できれば今後も参加させていただきたいと思っている。いろいろな場所で開催日時を確認できるとありがたい（薬剤師）
- わかりやすい講義だった（歯科医師）
- ありがとうございます（看護師・薬剤師）
- 大変だとは思いますが、このように素晴らしい研修会を継続していただきたい（薬剤師）